

# 勉強することから学んだこと

H・S

私は、第一志望校として、都内にある女子校の富士見中学校を受験した。結果として合格ができたけれど、それまでにたくさんのお話を経験し、学んだ。まず、先生や母にいつも言われていたことで、「ただ、一点の差で不合格になってしまう。」ということだ。言われなくても「わかっている」と思っていたけれど、自分がそれで不合格になったときとてもショックだった。「本当にこんなことがあるんだ。」と思った。「たったの一点で泣きを見るんだよ。」と言われていたのはこのことなんだ。本当にそう実感できた。その思いを胸に、次は満点をとる気持ちで試験に臨んだ。そして、輝きを咲かせることができた。もう「一点の差」で落ちたりしたくないから、次の大学受験では「つめがアメイ」と言われたことを思い出してがんばる。

次に、私のためにたくさんの方が支えてくれているということだ。まずは母。私の受験日は仕事を毎回休んで一緒に応援に来てくれた。次に先生方は、「分からないから教えて」という質問にいつ、何時に行っても答えてくれた。それに友達もみんながんばって応援をしてくれていた。周りのみんなが支えてくれたおかげで私は合格を勝ちとれたのだと思う。だから私は母や先生方、友達みんなに「ありがとう」と言いたい。

私が中学受験から学んだことは、いつか私の受験に生かしたり、友達や子供に力になってあげたい。そして勇気をくれた方々に恩返しをしたい。

これから試験の人たちは、私のように「一点の差」で不合格にならないように、一点一点を大切に。それと周りの人たちの自分がかんばるとして勇気をくれた応援をし、支えてくれることに感謝して試験にかんばって挑んでほしい。